

S.G. Report

No.2

『APU連携ワークショップ』

- 日 時： 平成27年7月5日（火）～7日（木）
- 参加者： 1年SGコース生徒（59名）および職員（田中教頭、松村、宮原、鶴賀）
- 訪問先： 立命館アジア太平洋大学（APU）
- 目 的： APUと連携し、海外からの留学生（国際学生）と環境についてのディスカッションや意見交換を行い、今後の課題研究への意識を高める。各グループ毎に英語を使ったプレゼンテーションの準備及び基本的な練習を行い、今後の研究活動の下地を作る。また、様々な活動を通して、SGクラス内の親睦を図ることも目的とする。

【研修内容】

研修内容	
7月5日（火）	<p>1. 開校式（13:10～13:40） <APUアドミッションオフィス：下乃門様></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化とは？ →日常のいろんな場面に垣間見られる。 →人・モノ・情報等が国境を越え速いスピードで行き来する ・コミュニケーションの際に大事な4つのポイント Smile, Greeting, Eye Contact, Personal Appearance ・効果的なプレゼンをするコツ →ゆっくり、身振り手振りを交えて
	<p>2. 研修① 国内学生（本校OG）による体験談（13:40～14:10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校OGである岩尾 光彩さんから大学生活や、これまでの留学やインターンシップ体験そしてこれから展望などの話を聞いた。
	<p>3. 研修② キャンパスツアー（14:15～15:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・APU学生の方によるアイスブレーキングの後、大学施設案内。
	<p>4. 研修③：国際学生との交流及びディスカッション（15:10～16:10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7つのグループにそれぞれ1人の国際学生がつき、簡単な自己紹介及び文化交流や環境に関するディスカッション等を行った。 <p>5. 研修④（20:00～22:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日の国際学生へのインタビューに向けて、各グループ毎にテーマに沿った質問の英訳作業やグループディスカッションを行った。生徒達は、英訳作業に苦しみながらも、互いに役割を分担し協力して作業していた。

<p>7月6日 (水)</p>   	<ol style="list-style-type: none"> 1. 早朝研修：インタビューの英訳作業 (7:00~7:45) 2. 研修⑤・⑥：国際学生とのディスカッション (1) (2) +フリーインタビュー準備 (9:30~11:30) ・各グループに国際学生がつき、各グループ毎に研究テーマについて話し合いを英語で進めた。フリーインタビューの準備も行った。 3. 研修⑦：国際学生へのフリーインタビュー (12:30~14:00) ・少人数グループに別れ、キャンパス内を自由に動き回り、国際学生達へ環境に関する質問を英語で行った。 4. 研修⑧：国際学生によるモデル・プレゼンテーション (14:15~15:15) ・2人の国際学生から、英語によるモデル・プレゼンテーションをみせていただいた。 5. 研修⑨：国際学生とのディスカッション (3) (15:15~17:15) ・フリーインタビューの結果を参考に、グループ毎に国際学生の方々と各テーマについて更に話し合いを深めた。 6. 研修⑩ (20:00~22:00) ・各グループ毎に、翌日の英語ポスタープレゼンテーションに向けてのポスター作成及びプレゼンテーションの準備を行った。
<p>7月7日 (木)</p>   	<ol style="list-style-type: none"> 1. プrezentation準備 (9:30~10:00) ・各グループごとにポスターの仕上げや英語プレゼンテーションに向けての準備を進めた。 2. 研修⑪：プレゼンテーション (10:00~11:30) ・全7グループがそれぞれ持ち時間10分（発表8分+質疑2分）の中で、研究テーマ・着眼点・着眼の理由・今後の展開等について英語によるポスタープレゼンテーションを行った。国際学生5名がジャッジを担当し、1位のチームには景品が送られた。国際学生からの質問はもちろん、生徒同士の質疑も活発になされ、ほぼ英語のみで進んだ。生徒達からはできる限り英語を使おうとする姿勢が見られた。 3. 閉校式 (12:30~13:00) 

【生徒感想】

・この研修を通して学んだことは、主に2つです。1つ目は、コミュニケーションツールとしての英語の大切さです。80ヶ国以上の国から来た学生が英語を通して学びを深めている様子を目の当たりにしたこと、より深くそれを実感できたと思います。また、自分から話しかける時にも、全く想像もつかない国から来た学生とコミュニケーションがとれていることにとても感動しました。



2つ目は、自分から挑戦することの必要性です。2日目のインタビューはもちろん、他の活動でも、自分から未知のことに対する挑戦をしていかなければ、いい成果は得られませんでした。自分の出来ること、自分が好きな事ばかりするのは楽しいことですが、自分が出来ないこと、自分が苦手なことにも挑戦していく姿勢を忘れないようにしたいと思いました。今後の様々な活動にも、APUで学んだことは生かせると思います。DDPでのディベートなどでは主張を伝えるために積極的な発言が必要になってくると思いますし、英語を使わない分野でもこれから社会で必要なコミュニケーション力をつけなければいけないと思います。例え将来英語と全く関わりのない仕事に就くことのなろうとも、今回のAPU研修は決して無駄にならない充実した3日間でした。

(10組 男子)

・研修を通して、多くのことを学ぶことができました。まず、恥ずかしがらずに話せば完全な英語ではなくても、ジェスチャーを交えながら話すときの喜びも学ぶことができました。次にたくさんの外国の文化にふれることもできて、文化の多様性を実感しました。グループ交流での楽しい会話やカフェテリアの食事で宗教のこと、文化のこと、英語以外の外国語についても知ることができました。最後にグループで論文をまとめる時の責任の重さを学びました。今回の論文は、研修前に各自が調べたことを主に使いました。調べてきた内容に少しでも不備があれば最高の論文を作ることはできません。論文に限らずグループで活動するときは全体の利益を目標にしたいです。今回の研修を通して今後につなげるべきこと多くあります。まずははじめて会った人と話すときは、恥ずかしがってもじもじするのではなく、お互いにお互いのことが知れるように、コミュニケーションをしっかりとって、人間関係の輪を広げたいです。次に自分の英語の語い力の少なさに気づくことができました。だからこれからは知っている英単語を増やせるように、少し気になった単語は積極的に辞書をひき、その周りにある単語も一緒に覚えられるようにしていきます。最後に今回の私達の研修をとても大きくサポートしてくれたGASSのみなさんや、活動を良いものにしてくれた国際学生の方々のように、他の人の成長に役立つために、自分が努力できるような利他的な人間になれるような寛容な心持ちになっていこうと思います。



(10組 男子)

・研修を通して学んだことは2つあります。1つ目は外国人の人とうまくコミュニケーションをとるためには「笑顔」「アイコンタクト」「Don't be シャイ」が大切なことです。僕も2日目に実際にフリーインタビューをして、最初は緊張して、ハキハキとできませんでしたが、先生や国際学生のみなさんに言われたことを思い出して、やってみるととてもよくできました。「笑顔」を最重視したことで相手も笑顔になってお互いうまくコミュニケーションがとれました。2つ目は、もっと自分から英語への意欲を高めることです。今回の研修の中で、「日本語はわかるのに英語がでてこない。」ということが多々あり、とても悔しい思いをしました。フリーインタビュー中にも単語がわからぬことがあります苦しかったです。文法事項もすごく大切ですがまずは単語を覚えなければいけないと思いました。また、リスニングや発音発声には地道に1つ1つこなすしかないで、毎日がんばりたいです。今回の研修は自分にとって本当に有意義なものとなりました。英語以外のこと



もたくさんのこと学び、2日目の夜には「充実して寝る」とはこのようなものかと思いました。それくらい充実していました。これからはもっと自分を律し、「常に自分から」ということを心がけたいです。それは英語の勉強に限らず、環境問題などのSGRの活動全般にかかわることです。このことを今後につなげます。また、今回の研修はたくさんの方の支えから成り立つものです。関わってくださった全ての人に感謝しています。支えてくださった全ての人に恩を返す意味でもこれからSGR活動を頑張りたいです。フリーインタビュー中にも熊本地震のことを心配して下さる優しい外国人の方がいてうれしかったです。(10組 男子)

・APUでの2泊3日では多くのことを学ぶことができました。学んだことの中で1番私の中で大きかったのは、伝えたいという気持ちがあれば正しい文章でなくても、相手に伝わるということです。私は今まで外国の方と接する時に、頭の中で単語や文法を構成してでき上がった文章を口にだしていました。しかし、今回のこのAPUで、国際学生との交流やインタビューの時に、「頭の中で文章を組み立てている余裕はない！！」と思いました。国際学生の方が一生懸命自分の声に耳を傾けて下さっているので、とにかく自分の知識の中の単語をつなげて言ってみました。すると何度もやり取りをするうちに私の伝えたかった事が伝わってとてもうれしかったです。しかし、このことから自分の英語力やコミュニケーション能力の無さも実感しました。自分の知識だけではどうにも伝えることのできない内容がいくつかあり、とても悔しかったです。今まで文法や連語を多く覚えようとしていましたが、今回のAPUで基礎である単語をしっかりと覚える大切さを痛感しました。国語だけでなく英語での語い力も身につけていきます！そして今回の経験はからのSGでのレポートやディベートなどにいかしていきたいです。国際学生と交流したことで世界の様々な文化を知ることができました。各国の文化はその国の自然環境と関わっている部分が多くあり、世界の自然環境についても学ぶことができました。なので今回得た世界の知識を自分のレポートに生かしていきたいと思います。そしてこの英語で伝えることのできなかつた悔しさを今後のディベートにぶつけていきたいと思います。始めはとても不安だったAPU研修でしたが、とても多くのことを学ぶことができました。この学んだことが無駄にならないように自分の出来ることを考え、これから日常生活にもいかしていきたいです。(10組 女子)



・私は今回の研修を通して、自分から積極的に動くことの大切さと、英語の必要性を学んだ。国際交流で、国際学生の方が自国について説明されたとき、1日目は何も質問ができなかったが、2日目はいくつかすることができた。ただ黙っていることもできるが、質問をすることで、より深い話が聞けることを知った瞬間だった。また、2日目のインタビューも、いかに自分から動けるかを試されていたと思う。このように自分から動くという場面は、日常生活の中でも、よくあることだと思うので、気にかけていきたいと思う。また、今回の研修では、国際学生(APUの学生)方の、教養の深さや語学力に驚いた。フリーインタビューで大勢の学生さんが質問に答えて下さったが、とっさに答えが出るということは、日ごろからそういったところの知識をえて、関心をもっているという表れだと思うので、私は研修のときにしかそういったことを調べようとしなかったので、これからは見習いたいと思った。語学力に関しては、国際学生の方が、まだAPUに来て1年、つまり日本語を習い始めて1年だというのに、私達が英語を話すよりも、日本語が話せていたのですごいと思った。やはり今回は英語力不足で、なかなか理解できないところが多かったので、そこはすごくやしかったし、理解だけないためにあまりはなせなかったのも残念だった。今後の目標として、「自分から環境問題に対して関心を高め、知識を蓄える。」「蓄えた知識、自分の意見を相手に英語で伝える」を意識した生活を送りたいと思う。いつか国際学生の方レベルまで、ポスターセッション力をあげたいと思うので英語やDDPの授業を大切にして、課題意識を常に持つようにしたい。(10組 女子)



・今回のAPU研修で学んだことは、自分の語学力の低さと、コミュニケーション力の重要さです。外国人を相手にインタビューをするのはとっても大変で通じなかつたら言葉で変えたり、身ぶり手ぶりで頑張って伝えようとしたらなんとか通じたりした。でもインタビューした人の中には英語がわからない人もいたりしてとても大変だった。最終日の英語での発表は外国人の学生さんの質問に英語で答えられている賢太が



とてもかっこよかった。いつかあのくらい話せるようになりたいので、もっと英語を頑張る！APハウスでは、班行動が全部院壁にいっていたわけではなく風呂への移動や、チェックアウトなど、時間に遅れたり、他の班より遅かったりして良くないことが多かったので今度からは意識して行動するようにしたいと思う。発表の班は自分たちの意見を言い合うことができとてもレベルの高い発表ができたと思う。鶴瀬先生や宮原先生には持ってきていた本の数をみて「凄いですね」とと言われたのでちょっと嬉しかった。学校での生活は集団行動が主体でと思うので今回のAPU研修で学んだことをしっかり活かして生活していけたら今回の研修が有意義なものになると思う。（9組 男子）

・この3日間で、たくさんのこと学ぶことができました。1日目は、3人の国際学生の話を聞きました。それぞれの国で、住宅のようす、祭り、食べ物など、その国の特徴がでていて面白かったです。英語を理解するのは少しむずかしかったけど、しっかりアイコンタクトをとることで、交流がより深まつたと思います。2日目は、結構ハードなスケジュールで疲れました。まず、前日と同じように国際学生と交流しました。私たちの班に来てくださったインドネシアの学生さんは、インドネシア語も教えてくださいました。そしてフリーアンタビューの準備もスムーズに行うことができました。昼食後のフリーアンタビューではできるだけ積極的に話しかけることを心がけました。途中、何人かの人に断られたときは少しショックだったけど、多くの方に答えてもらえてよかったです。最初の目標よりも大幅に上の、班全員で約170人にインタビューができたよかったです。暑かったけど達成感がありました。次に、国際学生のプレゼンテーションがありました。全て内容を聴き取ることはできなかったけど、しっかり聞いてよかったです。ディスカッションまとめではインドの学生さんに来てもらいました。日本語が伝わらずコミュニケーションが難しかったです。でも私たちの英文に的確なアドバイスをください、勉強になりました。夜の研修では、ポスターをまとめて、自分が言うセリフの英訳を行いました。班ではいろんな意見が出せ合えて、いいものができました。夜は、友達とたくさんおしゃべりができました。



いよいよ本番の最終日。朝食を食べた後、グループ発表でした。私たちは一番最後で、緊張が止まりませんでした。みんな英語の発音がうまくて、ポスターもわかりやすくまとめてありました。結果はだめだったけど、この3日間は忘ることのできない貴重な体験でした。この研修を通して、自分の英語力をもっと伸ばさないといけないことに改めて気づかされました。最初の開校式でもあったように、Smile(笑顔)、Greeting(あいさつ)、Eye Contact(アイコンタクト)、Personal Appearance(容姿)を大切にして、コミュニケーションを取っていきたいです。あっという間の3日間でした。大学は自由なところでした。大学で生活をすることは、めったにできない貴重な体験でした。もっとといたいと思うくらい充実していました。これからもSG活動頑張っていきたいです。

（9組 女子）



・今回のAPU研修では、たくさんの新しい経験をすることができました。まず、じっくりと外国の方と話をしたのは、これが初めてだと思います。そこで、思っていることがなかなか伝わらないもどかしさを感じました。そして相手の方が話してくれても自分は全く理解することができませんでした。それで、とてもショックを受けました。他にもこんなにたくさん異文化と触れ合えたのも、これが初めてだと思います。一番おどろいたことは、国際学生の方とポスターを作った時に、描き方（レイアウトの仕方）が全く違ったことです。例えば、わざわざ紙の裏側を使ったり、紙を横書きで使ったり、日本だと項目を左から右にかくところをその方は右から左にかかれていました。細かいところでしたが、やっぱり違いがあるのだと知ることができました。このようなたくさんの発見から、たくさんのこと学ぶことができました。このAPU研修では、普通の人にはできないような貴重な体験をすることができました。ここで感じたことは、自分の英語力のなさを感じました。これをきっかけに英語が得意になれたらしいなと思います。（9組 女子）



・研修を通して多くのことを学ぶことができたと思います。APUから帰ってきて自分の考え方や世界を見る視点も変わりました。APUに行く前は「外国人ときちんと言葉をかわすことができるだろうか。」ととても不安でした。外国人とコミュニケーションをとる機会もあまりなく、英語で会話できる自信もありませんでした。APUに着いて英語であらわれている雰囲気にまず圧倒されました。初日はキャンパスツアーがあり、大学は英語などを学ぶ施設が充実していることがわかりました。2日目のフリーインタビューでも学ぶことができました。最初は外国人に話しかけることに手こずっていましたが、まず話しかけることが大切だとわかりました。一度話しかけることができたら、話しかけるのにも慣れて「もっと色々な人に聞いてみたい」という気持ちになってきました。また笑顔で相手に聞こえるような大きな声でインタビューすることも心がけました。自分から積極的に行動することの大切さを学ぶことができました。3日目の発表では紙ばかりみてしまい、



あまりアイコンタクトをすることができませんでした。伝えたいという気持ちを表さなければいけないのだなと感じました。②このAPUで学んだことは今後に活かしていかなければ意味がないと思います。今回は外国人との交流でしたが学校での生活や授業でも、学んだことを活かしていきたいです。今までには自分から発言したりすることはありませんでしたがこれからはもっと積極的に自分の考えを言えるようにしていきたいと思います、外国でも通用する日本人になりたいです。（9組 女子）

・今回の研修は、普段の生活とは違い、否が応でも英語で話さなければならぬ、という特殊な環境のなかでした。こんなにたくさんの外国の方と関わったのは、15年の人生の中で初めてのことでした。日本人とは文化も言語も違う人たちとうまくやっていけるのか、最初はとても不安でしたが、研修が終わる頃には「まだここにいたい」と思うぐらい、楽しい経験でした。この研修を通して、やはり英語はコミュニケーションツールとして必須であること、何事にも積極的に挑戦すること、そして笑顔とアイコンタクトの重要性を学びました。2日間のインタビューは、英語と国際生に話しかける積極性と笑顔、3日目のポスターセッションは英語と笑顔、アイコンタクトがとても重要でした。でも、私にはどれも十分にあったとは言えないものでした。この研修ではそれらの大切さを改めて痛感させられました。そして、APUに着いてすぐにあった説明の中で印象に残ったことがあります。「世界地図を広げて大学を選んだ人が、APUの国際学生」という言葉です。私はかなり背伸びをして九州の地図を広げようとしているぐらいのレベルなので、すごいなと思いました。ですが、私もSGコースに入ったからには、アジアの地図を広げられるぐらいにはなりたいです。そのため、今回の研修で学んだ3つのことを普段の生活から意識して取り入れ、グローバルな人材になれるように、日々努力をしていきたいと思います。（9組 女子）